

作成日 2000年12月01日
改定日(R-13) 2024年10月10日

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品情報

製品名 シャレード
整理番号 12059311
推奨用途及び使用上の制限 水性錆変換型プライマー

会社情報

会社名 日本エヌ・シー・エイチ株式会社
住 所 東京都町田市南成瀬1-2-2 5F
担当部署 管理・技術センター 技術・品証課
電話番号 0120-571511

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (麻酔作用)

GHS ラベル要素



警 告

危険有害性情報

- ・H315: 皮膚刺激
- ・H319: 強い眼刺激
- ・H335: 呼吸器への刺激のおそれ
- ・H336: 眠気およびめまいのおそれ

注意書き

【安全対策】

- ・P261: ミスト/スプレーの吸入を避けること。
- ・P264: 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・P271: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・P302+P352: 皮膚についた場合: 多量の水で洗うこと。
- ・P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・P312: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・P101: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

【保管】

- ・P403+P233: 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・P405: 施錠して保管すること。
- ・P102: 子供の手の届かないように保管すること。

【廃棄・その他】

- ・P501: 内容物/容器を定めるところに従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名または一般名 : 水性錆変換型プライマー

成分名	質量%	官報整理番号	CAS No.	備考
有機酸	5～10	企業秘密	企業秘密	既存化学物質または名称公示済みである
溶剤系浸透剤	1～5	企業秘密	企業秘密	既存化学物質または名称公示済みである
1-(2-メキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール	1～5	2-426 7-97	34590-94-8	既存化学物質または名称公示済みである
1-メキシプロパン-2-オール	0.1～<1	2-404	107-98-2	既存化学物質または名称公示済みである
エチレングリコール	0.01～0.1	2-230	107-21-1	既存化学物質または名称公示済みである
非晶質シリカ	1～5	1-548	112926-00-8	既存化学物質または名称公示済みである
その他成分	残分	企業秘密	企業秘密	構成成分はすべて既存化学物質または名称公示済みである

※製品を構成する全成分及び含有量は、企業秘密のため記載できない。
記載のない成分は、危険有害性区分に寄与せず、国内法令によって情報伝達が求められる物質ではない。
SDS 交付義務対象物質である成分について、より詳細な組成情報が必要な場合、秘密保持契約締結の上、詳細な組成、成分情報開示書類を別途提出とする。

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・呼吸の影響が遅れて現れることがある。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：

- ・直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・直ちに汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

眼に入った場合：

- ・清浄な水で最低 15 分間洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・洗浄後、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状：

- ・眼：刺激。皮膚：刺激。吸入：呼吸器を刺激。誤飲：吐き気を起こすおそれがある。

最も重要な兆候及び症状：

- ・データなし。

医師に対する特別注意事項：

- ・症状は遅れて発現することがあり、過剰に暴露した場合は、医学的な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

- ・消火剤 : 泡、炭酸ガス、粉末、水散布
- ・使ってはならない消火剤 : 特になし
- ・特定の消火方法 : 消火活動を行う者に火災の場所と有害性を伝える。

・消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器を含む適切な保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項
保護具及び緊急措置 : 「8. 暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。
密閉された場所では換気又は送気マスクを使用する。作業時には「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の適切な保護具を使用する。
- ・環境に対する注意事項 : 漏出物は排水や水源に混入させない
- ・回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材 : 適切な吸収剤を使用して吸収し、廃棄する。残分は洗剤と水で洗い、この洗浄廃液もウエス等の吸収材で吸収して廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 取り扱う場合は適切な保護具を着用し、吸入、接触を避ける。
局所排気装置・全体換気 : 密閉空間では局所排気装置等適切な排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項 : 取扱う場合は換気の良い場所で使用する。暴露防止のため、「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用して作業を行う。
製品ラベルの注意事項を守って取り扱う。
- 管理濃度、濃度基準値等
接触回避 : 「8. 暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。
: 「10. 安定性及び反応性」参照。
- 保管
技術的対策 : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。
- 混触禁止物質 : 「10. 安定性及び反応性」参照。
- 適切な保管条件 : 40℃以上の高温を避け、常温屋内で保管する。使用時以外は密栓をし、子供の手の届かない所に保管する。冬季低温時に凍結させないように注意する。
その他法令の定める所に従う。
- 避けるべき保管条件 : 包装、容器の規制はないが、保管時には製品の入っている容器から移し替えない。
- 廃棄上の注意及び輸送上の注意 : 「13. 廃棄上の注意」、「14. 輸送上の注意」の記載事項を参照。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)

成分名	含有量 (質量%)	管理濃度 (安衛法)	許容濃度 (日本産業衛生学会)	濃度基準値 (第577条の2第2項)	ACGIH-TLV
有機酸	5～10	未設定	未設定	未設定	未設定
溶剤系浸透剤	1～5	未設定	未設定	未設定	100ppm
1-(2-メキシ-2-メルエトキシ)-2-プロパノール	1～5	未設定	未設定	未設定 (※2025/10/1より適用 50ppm(8時間))	TWA 100ppm STEL 150ppm (Skin)
1-メキシプロパノ-2-オール	0.1～<1	未設定	未設定	未設定 (※2025/10/1より適用 50ppm(8時間))	TWA 50ppm STEL 100ppm
エチレングリコール	0.01～0.1	未設定	未設定	10ppm(8時間) 50ppm(短時間)	TWA 25ppm (V) STEL 50ppm (V) 10mg/m ³ (I, H)
非晶質シリカ	1～5	未設定	未設定	未設定	未設定
その他成分	残分	未設定	未設定	未設定	未設定

設備対策 : 特別な設備は必要ないが、通風換気を必要とする。

- 保護具
呼吸器用の保護具 : 保護マスク
手の保護具 : ゴム手袋
眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体への保護具 : エプロン
その他法令の定める所に従う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色	: 乳白色粘性
臭い	: 微特異臭
融点/凝固点(°C)	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲(°C)	: 103
可燃性	: データなし
爆発限界及び爆発上限界/可燃限界(%)	: 下限: データなし 上限: データなし
引火点 (°C)	: 不燃性
自然発火点	: データなし
分解温度(°C)	: データなし
p H(100%)	: 2.0
動粘性率	: 弱粘性
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧(20°C-kPa)	: <2.4(<18mmHg)
蒸気密度(AIR=1)	: 0.1
密度及び/又は相対密度	: 1.22
溶解性	: 水に任意、石油系溶剤に不溶
揮発分(重量%)	: 52.7
臭いの閾値	: データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: 0.1
燃焼性(固体、ガス)	: 燃焼性なし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 安定
危険有害反応性の可能性	: なし
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 強酸化性物質、銀、アルカリ
危険有害な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素、刺激性発煙

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	: 各成分のLD50 から、ATEmix を算出した(GHS 判定基準による)。これにより混合物として情報がなく分類できない。
経皮	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
吸入(ガス)	: 各成分の分類結果から混合物として分類対象外。
吸入(蒸気)	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
吸入(ミスト)	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 各成分の分類結果から混合物として区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 各成分の分類結果から混合物として区分2Aとした。
感作性-呼吸器	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
感作性-皮膚	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
生殖細胞変異原性	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
発がん性	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
生殖毒性	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
生殖毒性(授乳に対するまたは授乳を介した影響)	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 各成分の分類結果から混合物として区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
誤えん有害性	: 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。

12. 環境影響情報

生体毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生物蓄積性	: データなし
土壌中の移動度	: データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない
その他の影響	: データなし

13. 廃棄上の注意

- ・ 残余物の廃棄の際は下水、環境中にそのまま放出しない。
- ・ 廃水性塗料として処理するか、産業廃棄物処理業者に委託する。
- ・ その他環境、廃棄物関連法規に準じて廃棄する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号、国連分類 : 該当なし
- 国内規制 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- 特別の安全対策
- ・ 7 項、15 項の記載事項を参照のこと。
 - ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 - ・ 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
 - ・ その他法令の定める所に従う。

15. 代表適用法令

化審法	: 特定化学物質	: 該当せず
毒物劇物取締法	: 毒物、劇物	: 該当せず
消防法	: 危険物	: 該当せず
労働安全衛生法	: 有機溶剤中毒予防規則	: 該当せず
	: 特定化学物質障害予防規則	: 該当せず
	: 変異原性が認められた既存化学物質	: 該当せず
	: がん原性物質	: 該当せず
	: 皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質	: ジプロピレングリコールメチルエーテル
	: 通知対象物質	: 政令番号第 601 号 1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール (令和 7 年度以降、政令番号第 2189 号 1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール)
	: リスクアセスメント物質	: 政令番号第 601 号 1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール (令和 7 年度以降、政令番号第 2189 号 1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール)

なお、本書作成時の調査より、令和 7 年度、令和 8 年度以降追加となる安衛法ラベル表示・SDS 交付の義務化対象物質の含有は、以下記載の通りである。

	: 通知対象物質(令和 7 年度追加)
	: 該当せず
	: リスクアセスメント物質(令和 7 年度追加)
	: 該当せず
	: 通知対象物質(令和 8 年度追加)
	: 政令番号第 1568 号 非晶質シリカ (シリカゲル及び沈降シリカに限る。)
	: リスクアセスメント物質(令和 8 年度追加)
	: 政令番号第 1568 号 非晶質シリカ (シリカゲル及び沈降シリカに限る。)
化学物質管理促進法(PRTR 法)	: 該当せず

16. その他の情報

本データシートに記載されている情報は弊社の知り得る限りにおいて正確ですが、保証するものではありません。弊社は製品ラベル記載事項を守らない使用方法などによって受けた人的、物的損害に対して賠償責任を負いかねます。

参考文献:

1. 「製品安全データシートの作成指針」(社)日本化学工業協会, 2001
2. 「GHS 対応による混合物(化学物質)の MSDS 作成手法の研修テキスト」中央労働災害防止協会, 2006
3. 「GHS モデル MSDS 情報」中央労働災害防止協会, 2024
4. 「JIS Z7253:2019, GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全デー

タシート(SDS)」日本工業標準調査会，2024

5. 「GHS 分類結果データベース」(独)製品評価技術基盤機構，2024

6. 「ezCRIC+」日本ケミカルデータベース(株)，2024